

第6学年〇組 外国語科学習指導案

日 時：令和7年〇月〇日（〇）第〇校時

場 所：6年〇組 教室

授業者：〇〇 〇〇

A L T：〇〇〇〇 〇〇〇

1 単元名 NEW HORIZON Elementary 6 Unit 5 Where is it from?

2 単元について

(1) 教材観

本単元では、身近なものに関係する国についてのやり取りを通して、世界とのつながりを知ることが目標としている。児童の身の回りにはたくさんのもものが溢れている。それらの身の回りにあるものの多くは、外国との関わりの深いものが多いが、普段意識することはほとんどない。そこで、本単元で扱う表現や語彙や既習の表現を活用しながら、自分の身近なものに関係する国について調べて紹介し、外国の国々とのつながりを考えさせたい。紹介をしたり、友達の紹介を聞いたりする中で、身近なものが多くが外国とのつながりのあるものだと知り、自分たちの生活は世界とのつながりで成り立っていることに気づかせたい。

(2) 児童観

【外国語に対する児童の意識調査結果】 調査実施日 令和7年〇月〇日 調査人数：〇人

① 英語の授業は好きですか

とても好き	どちらかといえば好き	あまり好きではない	好きではない
22.2%	37.0%	22.2%	18.5%

② 英語の授業は楽しいですか

とても楽しい	どちらかといえば楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
25.9%	51.9%	18.5%	3.7%

③ 英語の学習は、大切だと思いますか

とても大切	まあまあ大切	あまり大切ではない	大切ではない
40.7%	59.3%	0%	0%

④ 英語の授業で発表すること（単元の最後みんなの前での発表）は好きですか

とても好き	どちらかといえば好き	あまり好きではない	好きではない
22.2%	22.2%	37.0%	18.5%

⑤ 英語の授業でやり取りをすること（友達と二人でやり取りをすること）は好きですか

とても好き	どちらかといえば好き	あまり好きではない	好きではない
29.6%	44.4%	25.9%	0%

⑥ <授業以外>日本以外の国のことについて調べたり、考えたりすることは好きですか

とても好き	どちらかといえば好き	あまり好きではない	好きではない
18.5%	51.9%	22.2%	7.4%

上記の調査結果から、本学級の児童は以下の2点の傾向があることが分かった。

1点目は、英語の学習に対して「好き」「どちらかといえば好き」（計59.2%）や「楽しい」「どちらかといえば楽しい」（計77.8%）といった前向きな考えで学習に臨んでいる児童が多いことである。6年生に進級してからは、こうした前向きな態度で学習に臨んでいる児童が多いため、

積極的に学習活動に取り組むことができている。また、英語の学習は、大切であると全員の児童が考えている。学習に対して、必要感を感じている側面も学習への動機づけとして生かしていきたい。

2点目は、学級全体の前で発表をすることに対して、55.5%の児童が「あまり好きではない」「好きではない」と考えて苦手意識をもっている児童が多いことである。その反面、友達とのやり取りをすることについては、74%の児童が「とても好き」「どちらかといえば好き」と肯定的に考えていることも分かる。本単元では、小グループで自分の言葉で伝えたいことを考えてやり取りをする場を多く設定し、児童が自信をもって全体発表に臨めるようにする。そうすることで、発表に対して苦手意識をもっている児童も発表に対して前向きに取り組ませたい。

また、外国の国々とのつながりという面では、5年生の社会科の学習で、食べ物が海外から多く輸入されていることを学習している。そのため、外国の国々とのつながりがあることは理解している。本単元の学習では、英語でのやり取りや発表を楽しみながら食べ物以外の身近なものも外国の国々とのつながりによって、自分たちの生活が成り立っていることを感じさせたい。

(3) 指導観

本単元の指導にあたって、次の点に配慮しながら授業を進めていく。

① 単元のゴールを明確にし、単元末から第1時へ逆向きに授業プランを作成する。

逆向きの授業プランを作成することで、1時間ごとの目標を明確にすることができ、児童が単元のゴールでの発表に向けた学習の見通しを立てやすくなる。また、単元のゴールへ向けて、主な表現など英語の語句を毎時間少しずつ計画的に積み重ねて習得させていきたい。

本単元では、身近なものとの関係のある国を紹介するためにクイズを通して、世界とのつながりを知ることがゴールとして設定した。単元の導入での授業者とALTのデモンストレーションを示すことで、より具体的に場面や状況を児童に理解させた上で単元の学習を積み重ねていきたい。

② 自分の思いや考えを伝え合う活動を取り入れる。

少人数でのグループ活動を取り入れることで、一人一人が英語を使って自分の考えをアウトプットする機会を多く確保することができる。全体発表に対して自信をもてない児童も、少人数でのグループ活動を通して英語で話す、聞くという活動を多く経験させることによって、自信をもって発表に臨めるようにしていく。また、少人数でのグループでお互いの考えを伝え合ったり、助言し合ったりすることで、より自信を深めさせたい。

③ ICT機器を活用して、言語活動の充実を図る。

ICT機器を活用することで、一人一人に応じた個別最適な学びを行うことができる。一人一人が必要に応じて、最適なタイミングで既習事項を振り返ったり、発表の練習を行ったりさせたい。具体的には、教科書のStarting outやSounds and Lettersのリスニング問題で、それぞれのタブレットを用いてデジタル教科書の音声を聞かせる。それぞれが必要に応じて、繰り返し聞いたり速度を変えたりして、個別最適な学習の機会を確保する。また、振り返りはアンケート集約ソフトを活用して行う。Formsを活用することによって、児童の振り返りを授業者が一覧で確認して次時の学習に活かしたり、他の児童へ学習の方法や表現、考え方の工夫などを共有したりすることを容易に行うことができる。

また、電子黒板を活用し、学級全体で確認すべき表現、発表の場面や状況をわかりやすく児童に指導していきたい。

3 研究課題との関わり

(1) 研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

(2) 研究の視点

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
～外国語科の「見方・考え方」を働かせた学習活動の充実～

(3) 研究課題解決のための仮説と手立て

仮説Ⅰ 単元のゴールを明確にし、学習の見通しをもてる授業プランを立てれば、主体的に学ぶ児童の育成ができるであろう。

手立て① 前時の振り返りをいかして、本時の課題を設定する。

手立て② 単元末から第1時へ逆向きに授業プランを作る。

仮説Ⅱ 意図的に自分の思いや考えを伝え合う活動や方法、学習形態を設定すれば、自信をもって自己の考えを広げ、深める、対話的な学びができるであろう。

手立て① Small Talk やグループ活動で、自分の思いや考えをアウトプットする機会を多く設定する。

手立て② ICT 端末やモデル動画を個別に活用することができるようにする。

手立て③ グループを意図的に形成して、児童同士で協働した学びの場を設定する。

仮説Ⅲ 目的・場面・状況を明確にした必然性のある言語活動を設定すれば、見方・考え方を働かせ、深い学びができるであろう。

手立て① 目的・場面・状況を意識した言語活動を行うために中間指導を行う。

手立て② ALT が児童の発話にフィードバックをする場を設定する。

4 単元の目標

自分たちと世界とのつながりを知るために、身近なものに関係する国について、伝え合ったり、紹介したりすることができる。

5 単元の評価規準

(本単元における「聞くこと」および「読むこと」「書くこと」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すことや (やり取り)	① This is …, It's from …, 国名 is in 地域, およびその関連語句について理解している。(知識) ② 身近なものやそのものに関係する国について、This is …, It's from …, 国名 is in 地域, およびその関連語句を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。(技能)	自分たちと世界とのつながりをよく知るために、身近なものとそのものに関係する国について、主な表現や関連語句を用いて、友達とやり取りをしている。	自分たちと世界とのつながりをよく知るために、身近なものとそのものに関係する国について主な表現や関連語句を用いて、友達とやり取りをしようとしている。

<p>話すこと 発 (発表)</p>	<p>① This is …, It’s from …, 国名 is in 地域, およびその関連語句について理解している。(知識) ② 身近なものやそのものに関する国について、This is …, It’s from …, 国名 is in 地域, およびその関連語句を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。(技能)</p>	<p>自分たちと世界とのつながりをよく知るために、身近なものとそのものに関する国について、主な表現や関連語句を用いて、発表している。</p>	<p>自分たちと世界とのつながりをよく知るために、身近なものとそのものに関する国について主な表現や関連語句を用いて、発表しようとしている。</p>
----------------------------	--	--	---

6 単元計画 (8 時間扱い)

時	◆目標・○活動	評価			
		知	思	態	◎評価規準 <評価方法>
1	◆ 身近なものに関する国についてのやり取りの概要を捉える。				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ Small Talk “Where is it from?” ○ Today’s Goal 「身近なものを紹介しよう」 ○ 本単元の目標を掴む <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">Unit Goal</div> <p style="margin-left: 20px;">友達に身近なものに関する国のことを紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Listen and Think を視聴して、本単元の Goal を確認する ○ Let’s chant (P48) ○ Sounds and Letters (P58)-Q&E 				*本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。記録は残さないが、教師は学習状況を把握する。
2	◆ 身近なものに関する国について、ゴール活動への見通しを持ってやり取りをする。				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ Small Talk “Where is it from?” ○ Starting out (P49) 1 ○ Today’s Goal 「身近なものに関する国についてやり取りをしよう」 ○ Sounds and Letters (P58)-Review5&聞いてみよう 5 ○ 身近なものや身近なものについて聞いたり答えたりする 				*本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。記録は残さないが、教師は学習状況を把握する。
3	◆ 身近なものに関する国やその地域を調べて、即興でやり取りをする。				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ Small Talk “Where do you want to go?” ○ Today’s Goal 「身近なものに関する国について詳しく紹介しよう」 ○ Sounds and Letters (P58)-Review6&聞いてみよう 6 ○ 身近なものに関する国やその地域を紹介する 				*本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。記録は残さないが、教師は学習状況を把握する
4	◆ 身近なものに関する国について、伝え合う。				

	<ul style="list-style-type: none"> ○ Small Talk “What is this?” ○ Starting Out (P48) 2 ○ Today’s Goal 「身近なものに関する国やその地域についてやり取りをしよう」 ○ Sounds and Letters (P58)-Review7&聞いてみよう 7 ○ 身近なものに関する国やその地域をグループで伝え合う 	や	や	や	<p>◎身近なものやそのもの に関する国について、 This is …, It’s from …, 国名 is in 地域, お よびその関連語句を用 いて、考えや気持ちなど を伝え合う技能を身に 付けている。<行動観察 ></p> <p>◎自分たちと世界とのつ ながりをよく知るため に、身近なものとそのも のに関する国につい て、主な表現や関連語句 を用いて、友達とやり取 りをしている。<行動観 察></p> <p>◎自分たちと世界とのつ ながりをよく知るため に、身近なものとそのも のに関する国につい て主な表現や関連語句 を用いて、友達とやり取 りしようとしている。 <行動観察></p>
5 本 時	<p>◆ 身近なものに関する国について、グループ発表でうまくヒントが出せるように工夫し、表現を振り返ったり情報を整理したりして伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Small Talk “What is this?” ○ Today’s Goal 「身近なものに関する国についてクイズになるようにヒントを考えよう」 ○ グループで身近なものに関する国やその地域についてクイズを出せるように工夫する 				<p>*本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。記録は残さないが、教師は学習状況を把握する</p>
6	<p>◆ 自分たちと世界とのつながりについて知るために、身近なものに関する国などのクイズをグループで発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループで発表するゴール活動を行う ○ Today’s Goal 「身近なものに関する国や地域についてクイズにして紹介しよう」 ○ グループごとにクイズとして身近なものに関する国やその地域について発表する 	発	発	発	<p>◎This is …, It’s from …, 国名 is in 地域, およびその関連語句について理解している。</p> <p>◎自分たちと世界とのつながりをよく知るために、身近なものとそのものに関する国について、主な表現や関連語句を用いて、発表している。</p> <p>◎自分たちと世界とのつながりをよく知るために、身近なものとそのものに関する国について主な表現や関連語句を用いて、発表しようとしている。</p>

7	◆ 映像や音声を手がかりにして、日本と世界との交流の歴史などについて考え、日本と世界のつながりに対する理解を深める。				
	○ 映像を見て、キーワードを聞き取ったり、考えたことを伝えあったりする ○ Small Talk ○ Today's Goal 「日本と世界のつながりを知ろう」 ○ 「文化探究」(P54)				*本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。記録は残さないが、教師は学習状況を把握する
8	◆ 映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。				
	○ 映像を見て、キーワードを聞き取ったり、考えたことを伝えあったりする。物語の内容を理解したり、読んだりする。 ○ Small Talk ○ Today's Goal 「外国の生活や国の特徴を知ろう」 ○ 「世界探検」(P55) 「物語探検」(P55)				*本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。記録は残さないが、教師は学習状況を把握する

7 本時の展開 (5/8時)

- (1) **目標** 身近なものに関係する国について、グループ発表でうまくヒントが出せるように工夫し、表現を振り返ったり情報を整理したりして伝え合うことができる。
- (2) **主な表現** This is my -. / Where is it from? / It's from -. / My - is from (国名). / (国名) is in (地域). / - is a nice country. / We are the - team. / Can you guess?
 主な語彙 衣類、食材、文房具など
 期待する既習表現 You can eat -. / You can see -. / You can visit -. / Anything else?
- (3) **準備**
 指導者用デジタル教科書・・・**デ教**
 教科書(本)・・・**教**、My Picture Dictionary・・・**MPD**、タブレット
- (4) **本時の展開**

時間	○学習活動・学習内容	・指導上の留意点・評価 (○留意点 ◆評価)
導入 10分	1 Greeting/Daily questions	○ 英語であいさつをし、明るい雰囲気です授業を始められるようにする。
	2 Chants “Where is this chicken from?”	
展開 28分	3 Small Talk “What is this?”	○ HRT と ALT でやり取りのデモンストレーションを示し、児童ともデモンストレーションを示す。
	4 本時のめあてをつかむ。	○ 本時のゴールを示すだけでなく、単元のゴールを再確認し、目的を意識させる。

世界とのつながりをより深く知れるクイズにして伝え合おう

	<p>5 聞き手に伝えたいことやより工夫したいことを確認する</p> <p>6 グループでやり取りする①</p> <p>7 中間指導</p> <p>8 グループでやり取りする②</p>	<p>○ モデル動画を必要に応じて、視聴できるようにしておく。</p> <p>○ 相手の回答に対してリアクションができるようにグループで既習のリアクションを確認する。</p> <p>○ HRT と ALT は机間指導を行いながら、表現のアドバイスをする。</p> <p>○ HRT は、机間指導をし、中間指導が必要なポイントを選定する。</p> <p>○ 中間指導後、改めて表現を確認したり、練習したりする時間を設ける。</p>
<p>まとめ 7分</p>	<p>9 本時のまとめをする</p> <p>10 振り返りをする (forms を活用)</p> <p>11 あいさつをする</p>	<div data-bbox="456 629 1321 748" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表現の工夫をしている児童を取り上げ、表現の仕方を学級全体で深められるようにする</p> </div> <div data-bbox="496 853 1489 1346" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈評価基準〉</p> <p>A 身近なものに関係する国について、よりつながりを意識した表現を用いて、やり取りをしている。</p> <p>B 身近なものに関係する国について、主な表現や関連語句を用いて、友達と詳しく（国名、地域、紹介など3点以上）やり取りをしている。</p> <p>C 「B」を満たしていない</p> <p>〈評価方法〉 行動観察 〈「努力を要する」状況(C)への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントカード ・モデル動画 </div> <p>○ 活動の良かった点や工夫が見られた点についてまとめを行う。</p> <p>○ ALT による活動のフィードバックを行う。</p> <p>○ 児童から出てきた英文を電子黒板で紹介し、共有する。</p> <p>○ 次時へ向けてのポイントや本時の工夫などを振り返らせる。</p> <div data-bbox="496 1659 1469 1865" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(期待される児童の振り返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の特徴を伝えるためには、有名なものを伝えるといい ・次回、他の人の紹介する国の特徴をたくさん知りたい ・意外なものが、外国で作られていることがわかった </div> <p>○ 次時の予告をし、単元のゴールである発表に意欲をもてるようにする。</p>

(5) 板書計画

Today's goal 世界とのつながりをより深く知れるクイズにして伝え合おう。

Warm-up

Small Talk What is this?

Today's Goal

Group work

まとめ

Reflection

This is my _____.

Where is it from?

Can you guess?

It' s from _____.

That' s right. / No, it isn' t.

This country is _____.

You can see _____.

You can eat _____.

You can visit _____.

8 備考 在籍児童数：○人